

江戸川NGO大学の記録

1998年

- 4月 50周年を迎える世界人権宣言
市民外交センター・上村英明
- 5月 江戸川区民の地球温暖化防止活動——京都会議報告と自動車フロン回収
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ・田中徹二
- 6月 助け合いのコミュニティをめざして
グループお互いさま・高澤圭介
助け合いワーカーズもも・弟子丸すみえ
- 7月 地元で考える戦争と平和
世代を結ぶ平和の像の会・藤田 昇
江戸川原爆犠牲者追悼碑の会・銀林美恵子
- 9月 どうする、どうやるリサイクル
江戸川区民リサイクル連絡会・薄井洋一
グループK I K I・田中 優
- 10月 草の根国際協力入門——世界のために日本の市民ができること
江戸川NGO大学事務局・大河内秀人
シェア＝国際保健協力市民の会・枝木美香
- 11月 実は良く知らなかった難民のこと
チッタゴン丘陵問題対策会議・トム・エスキルセン
日本国際ボランティアセンター・清水俊弘
- 11月 海外研修生が語る祖国と日本
PHD研修生・プラチャック（タイ）、サビトリ（ネパール）
財団法人PHD協会・藤野達也
- 12月 不登校から見えてきたこと
麦の会＝江戸川登校拒否を考える親の会

1999年

- 2月 安全な「食」を求めて——食べ物から見える社会と未来
生活クラブ生協・毛塚香恵子、原田真佐子
- 3月 外国人労働者と地域との関わり
江戸川ユニオン・宇田川正宏、松本耕児
- 4月 立候補予定者に政策を聞く会——江戸川区長選挙に向けて
立候補予定者・宇田川よしお、多田正見、八木橋公紀
- 5月 市民が国家を超える——草の根市民団体として初めて国連協議資格を取得して
市民外交センター・上村英明
- 8月 住民参加による健康づくり——人々の“気づき”がコミュニティの力を引き出す

シェア＝国際保健協力市民の会・工藤芙美子

12月 東海村臨界事故 現地からの報告――命と未来を守る市民社会を考える
原子力行政を問い直す宗教者の会・藤井学昭

2000年

連続講座：地域から生かす子どもの権利条約（5月～9月）

第1回 子どもの権利条約入門

早稲田大学教授・喜多明人

第2回 少数者の子どもの人権を考える――障害児・帰国子女・外国人の事例に学ぶ

障害児を普通学校に受け入れる運動団体の方々

江戸川ユニオン日本語教室

解説：市民外交センター・上村英明

第3回 地域だから、市民だからできること――世田谷チャイルドラインに学ぶ

世田谷ボランティア協会・天野英明

第4回 学校現場からの報告／小中学校の先生に聞く――学校を地域に開こう

小学校教諭・藤崎喜仁

中学校教諭・尾崎佳子

第5回 子どもの参加と居場所づくり

――青少年の意見を取り入れた青少年のための施設を求めて

青少年施設をつくる会・牧野祐一

――国連子どもの権利委員会で見える子どもの参加の可能性

国際子ども権利センター・平野裕二

第6回 ゲームで学ぶ子どもの権利

小学校教諭・岸本 哲

11月 草の根のリーダーをめざして

インドネシア／タイ／パプアニューギニアからの研修生

PHD協会・藤野達也

12月 緊急報告 パレスチナからのメッセージ

パレスチナ子どものキャンペーン・大河内秀人

2001年

10月 テロの背景と日本の外交政策

――グローバル化が作り出す支配構造――ダーバン（差別撤廃国際会議）報告を交えて

市民外交センター／明治学院大学国際平和研究所・上村英明

――メディアがつくる誤解と偏見そして暴力――パレスチナ現地報告とアラブ・イスラム基礎知識

パレスチナ子どものキャンペーン・大河内秀人

2002年

シリーズ：紛争を越えて——人々とコミュニティの可能性

第1回 カンボジア編(6月)

るしな・こみゆにけーしょん・やぼねしあ・松本清嗣
未来バンク事業組合・田中 優

第2回 パレスチナ編(9月)

『パレスチナが見たい!』著者・森沢典子
パレスチナ子どものキャンペーン・大河内秀人

2003年

連続シンポジウム “何かヘン!でも何が?” —流されない生き方を模索する (2月~3月)

▼ナビゲーター

上村英明 (市民外交センター代表)
大河内秀人 (江戸川子どもおんぶず共同代表)
田中 優 (未来バンク理事長)

第1回 いま何が起きているのか?

第2回 今のニッポンここがヘン!!

ゲスト：辛淑玉さん (人材開発コンサルタント)

第3回 足元から変えていく可能性

ゲスト：熊岡路矢さん (JVC 日本国際ボランティアセンター代表)

2004年

連続講座：歴史に学びいまを考える (3月~6月)

第1回「関東大震災の虐殺はなぜ起こりどう隠されたか」

証言：八木ヶ谷妙子

第2回「清算されない日韓関係」強制連行—今も心が苦しいタコ部屋労働

証言：呉 銀燮 (オ・ウンソック)

第3回「私たちにとっての“枝川朝鮮学校”立退裁判」

講師：師岡康子 (弁護士)

7月 「NGOは何故叩かれるのか?!—“自己責任”キャンペーンの構造」

問題提起&コメンテーター：大河内秀人 (パレスチナ子どものキャンペーン常務理事)

ゲスト：佐藤真紀 (日本国際ボランティアセンターイラク担当)

9月 下町で語るパレスチナと平和「パレスチナ子どものキャンペーン」現地活動報告会

報告者：山本智子 (パレスチナ子どものキャンペーンスタッフ)

中村哲也 (大学生ボランティア) 他

10月 摂氏911 同時多発テロ…4年目の真実~映像で検証する説明されない事実~

ビデオ上映 “911 In Plane Site” 他

プレゼンテーション：911 真相究明江戸川NGOチーム (略称：エドQ)

エネルギーとマネー 田中 優 (未来バンク)
米国と世界 上村英明 (市民外交センター)
対テロ戦争の構図 大河内秀人 (江戸川子どもおんぶず)

11月 江戸川で◆ヒバクチャー世界の終わりにーを見る会

上映会 (11/5)

学習会① (11/12)鎌仲ひとみ監督と共にヒバクチャーを考える

学習会② (11/19)江戸川で考える、私たちの未来

2007年

えどがわ水俣まつり

プレ企画 (勉強会@小松川市民ファーム)

第1回 水俣のくらしと《いま》(2/16)

第2回 江戸川・江東の環境問題と健康(3/16)

第3回 各地でいま起きていること(4/27)

イベント

水俣出前授業 講師：田嶋いずみさん

9月 えどがわ水俣まつり

19日～22日 『天の魚 (いお)』上演

19日 水俣病の経験を通して、現代社会と未来への視座を語る。講師：緒方正人

20日 水俣の産物を食べる 甘夏生産者グループ「きばる」の生産者との交流会

21日 六ヶ所村ラブソディ 上映 監督講演：鎌仲ひとみ

22日 水俣を考える 講師：最首悟

11月 核の現場から《いのち》を考える

中寫哲演 (若狭・小浜市 明通寺住職)

2008年

3月 まちづくり住職フォーラムー市民社会におけるお寺の可能性

～小規模から持続可能な地域福祉をすすめる～

青田賢之 (栃木県鹿沼市観音寺、福聚会無量荘)

大河内秀人 (江戸川区寿光院)

陣内 雄次 (宇都宮大学)

長岡素彦 (関東ESD「持続可能な開発のための教育」推進ネット)

コーディネーター 浅川和也 (東海学園大学)

江戸川の子どもの現状と課題を学ぶ連続学習会 (9月～2009年)

子どもの権利条約が活きる <チャイルド・フレンドリー・シティ>

第0回 子ども支援のグローバルスタンダードと地域の取り組み

喜多明人 (早稲田大学教授)

第1回 江戸川中3勉強会のこどもたち

矢鳴俊明さん（江戸川中3勉強会）

第2回 激変する公教育！学校NOW、初級講座

嶺井正也（専修大学教授）

第3回 日本語を母国としない子どもたちへの教育支援

松本耕児（江戸川ユニオン日本語教室）

2009年

3月 若手ジャーナリストの見たガザ空爆の真実

～メディアが伝えない「大虐殺」と「人権侵害」を現場の視点と市民の感性で問い直す

ガザ基礎知識 大河内秀人（江戸川子どもおんぶず代表）

現地報告 志葉 玲（フリージャーナリスト）

戦争と資源争奪 田中優（未来バンク理事長）

国際法的検知から 上村英明（市民外交センター代表）

コーディネーター 奈良由貴（足温ネット代表）

5月 先住民に学ぶ新しいコミュニティのつくりかた～ハワイ・東本願寺 藤森宣明師と語る

藤森宣明（ハワイ・東本願寺）

代表パネルトーク

上村英明（市民外交センター）

奈良由貴（足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ）

スカルマ・ギェルメット（ジュレー・ラダック）

2010年

8月 映画「さよならニッポン！」を語る夕べ～EDGAWA分離独立の条件とは

上村英明（恵泉女学園大学教授）